



平成24年度 株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況

【写真は平成25年7月時点のもの】

株式会社五霞まちづくり交流センターの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」の来場者数は順調に推移しています。平成24年度における施設延べ利用者数（レジ通過者）は、84万4千人、農産物直売所を含む売上高は約8億7,500万円、交流センターとしての経常利益は約1,700万円になりました。

地域食材供給施設

◆レストラン「華ごぶし」



家族連れや観光団体の来店が多く、様々な地域食材を利用した食事を提供しています。五霞町産常陸秋そば粉を自家製粉し

た「石臼挽き手打ちそば」や茨城県銘柄豚「ローズポークとんかつ」等も大変好評をいただいています。

◆軽食コーナー（最新情報）

幅広い客層に利用され、大人気のローズポークまんに加え、五霞町のイメージキャラクターをモチーフにしたグッズや、人形焼きの「ごかりん焼」が発売になりました。ごかりん焼は、地元産の米粉を使用したモチモチの食感が、お子様からお年寄りまでの幅広い層に喜ばれています。



ごかりんグッズ



ごかりん焼

◆農産物直売所「わだいの万菜」茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物やローズポークの精肉を求める多くのみなさんに利用され、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

情報施設・交流広場

情報施設では、道路情報や地域情報を検索するシステムが備わっており、様々な道路利用者に活用されています。

また、五霞東・西小、中学校の児童生徒の作品展やコスモス写真展など、年間を通して各種展示を行い、利用者の目を楽しませています。

イベント広場では、年間を通して多彩なイベントが開催され、利用者のふれあいの場としたいと思っています。

売上割戻金 約910万円を町に納付

平成24年度分の売上割戻金として、株式会社五霞まちづくり交流センターから町に対し9,148,489円が納付されました。

この割戻金については、道の駅「ごか」の今後の修繕費用等に充てる予定です。